



くまの議会だより

げんき・すなお・よいこ!

令和6年
3月定例会

筆の都くまの



熊野町観光大使 ふでりん

主な内容

- 令和6年度予算
- 補正予算を審議
- ズバリ町政を問う!

第130号
2024.5.1

熊野町議会のホームページから、本会議の会議録や議会中継をご覧ください。

発行 ● 熊野町議会 〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号 TEL(082)820-5630 FAX(082)855-4520
議会の情報は、熊野町ホームページから。 <http://www.town.kumano.hiroshima.jp> E-mail:gikai@town.kumano.lg.jp

編集 ● 議会広報特別委員会

観光・子育て支援を軸に定住を促進

令和6年度当初予算を可決 一般会計

過去最大の102億1,801万円 (前年度比 6.9%増)

3月定例会

3月定例会は、3月5日に開会し3月8日に閉会しました。町長の施政方針が示され、上程された令和6年度一般会計当初予算案など慎重に審議し、26議案いずれも原案通り可決しました。一般質問では、9人の議員が町政の課題など質しました。

主な事業をピックアップ

出産・子育て応援交付金



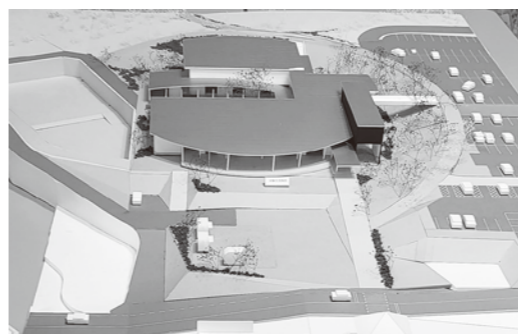
妊婦・子育て世帯に対し、出産・育児関連用品の購入助成等
1,328万円

保育所の待機児童対策



待機児童となり、やむを得ず認可外保育施設に子どもを預ける世帯に補助金助成
420万円

筆の里工房周辺整備



▲体験交流施設イメージ
体験交流施設、調整池の整備
3億8,450万円

定住交流の促進



▲夢プラザ・フェスタの様子
地域おこし協力隊による町の魅力発信
1,340万円

教育環境の整備



▲熊野第三小学校南校舎
熊野第三小学校南校舎改築の
基本計画・設計業務
700万円

若年層の移住定住の促進



子育て世代「住むならくまの」応援事業
1,800万円

防災・減災対策の強化



▲総合防災訓練の様子
総合防災訓練の実施
546万円

予算会計別総括表 (単位 万円・%)

会計名	令和6年度 当初予算額	前年度比較		
		増減額	増減率	
一般会計	102億1801	6億6158	6.9	
特別 会計	国民健康保険	23億3806	△6830	△2.8
	後期高齢者医療	9億7010	9957	11.4
	介護保険	24億8280	9890	4.1
企業 会計	下水道事業	11億3227	2043	1.8
合計	171億4124	8億1217	5.0	



3月6日から8日の3日間、議員全員で構成する予算特別委員会を開催し、令和6年度予算の審議を行いました。

【歳出】

被災地支援事業

能登半島地震における町の支援の内容は。
【総務部次長】
6月まで町職員を2人派遣し住宅の被害認定調査を行う。

商工振興事業

たべもの新名物アイデアコンテストで選ばれたものに対し町は商品化を考えているか。
【産業観光課長】
12月に試食会を開き賛同してくれた5事業所に3月の筆の日に合わせて試作品を作ってもらっている。その後、商品化につながればと思っている。



▲アイデアコンテストから生まれた
神山牛バーガー（試作品）



▲予算特別委員会

地域振興事業

地域おこし協力隊の選考方法は。
【産業観光課長】
大都市圏に住む方からの公募で面談等を行い2名採用する。

観光推進事業

広島市立大学が町と連携して、熊野町をつなぐプロジェクトを行っているが、内容は。
【産業観光課長】
学生と地域が連携して、熊野町で活躍されている方を取材し、SNS等で発信している。

交通輸送対策事業

新宮、初神から昼間に役場や広電熊野営業所まで行くバスがない。対応は。
【生活環境課長】
役場まで延伸したいという考えは持っている。今後、地域公共交通活性化協議会で検討し進めていきたい。

防犯対策事業

防犯カメラはどこに設置するのか。
【生活環境課長】
阿戸別れ交差点、西防災交流センター、広電熊野営業所前の駐輪場3か所に設置する。

廃棄物収集運搬事業

外国人向けのごみの出し方の一覧表を作成するとのことだったが、その後は。
【生活環境課長】
今作成中で完成すればホームページ上で閲覧できるようにする。また、外国人を雇われている事業所にも配布する。

消防団運営事業

各自治会定員15名で組織されていると思うが、自治会の規模の違いで定員の維持が難しいところもある。柔軟な考えは。
【防災安全課長】
定員割れがある状況だが、長期の対応に備え5人1組3班での運営をお願いしている。15名は維持していけたらとの思いで事務をすすめている。



▲消防団放水訓練の様子

町道萩原線新設事業

東中学校あたりから阿戸別れ交差点までの新設道路工事だが、建設時期と予算は。
【建設農林部次長】
東中学校までの県道進捗状況に合わせて工事を進める。予算は今、設計段階であり工法や用地買収を含めこれから出していく。

県道の歩道対策

派出所前から阿戸別れ交差点までの歩道の状態が非常に悪い。把握はしているか。
【建設農林部長】
把握しているため、県にお願いしていく。

保育所等運営事業

国が令和8年度から「だれでも通園制度」を始めるが町の見通しは。
【子育て支援課長】
待機児童の状況次第であるが、各園と協議していく。

社会福祉一般事務事業

民生委員のなりて不足のため、働きながらやられている方が増えてきている。新しい形の活動のあり方を考えていく時期ではないか。
【健康福祉部次長】
なるべく負担軽減を図りながら活動していただく。

介護保険一般事務事業

要介護認定調査員の人数と雇用基準は。
【高齢者支援課長】
人数は3名で、介護支援専門員の資格を持ち実務経験されている方を採用している。

学校給食事業

令和7年秋を目標に進めていると伺ったが、今年度の準備は。
【教育部次長】
7月にプロポーザル方式で業者を選定できるように準備を進めている。



▲食缶給食（イメージ）

3月定例会 こんなこと が決まりました!

令和5年度一般会計補正予算(第6号)を可決
歳入・歳出とも2億2,677万円の減額 総額102億9,576万円に

主な補正予算

ふるさと納税



▲返礼品の化粧筆

ふるさと納税の増額

1億4,438万円

保育所等運営事業

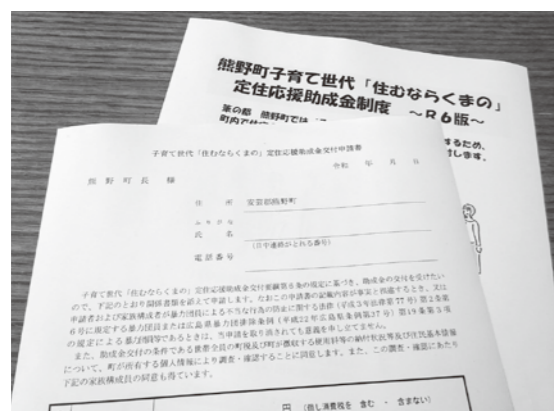


▲保育所ひかり学園

保育所入所児童数の増、保育所等に
支払う公定価格の改定に伴う増額

4,352万円

子育て世代「住むならくまの」 応援事業



住宅購入世帯の増に伴う
申請件数の増

160万円

補正予算質疑をピックアップ

Q. 保育所等運営事業の増額内容を問う。
A. 保育所入所児童数が当初見込んでいた457人から499人と42人上回ったこと。
また、保育所等に支払う保育単価である国の公定価格の上昇分を合わせて増額補正した。

(各ページの数値については表記単位未満を四捨五入しています)

督促手数料が廃止されました

督促手数料廃止等に伴う関係条例の整備に関する条例(議案第1号)

費用対効果や事務の効率化等を勘案し、全庁的に督促手数料を廃止し、延滞金の率及び計算方法を統一するため、関係条例の整備を行いました。

〔廃止となる督促手数料〕

町税(町民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税)、分担金等、介護保険料

後期高齢者医療保険料、道路占用料

※令和6年4月1日から実施

国民健康保険税が引き上げられました

熊野町国民健康保険税条例の一部改正条例(議案第5号)

国保加入者1人あたりの医療費の増額等の影響により、現行の保険税率では県が示す1人あたりの保険税必要額を賄うことができないことから、引き上げることになりました。

■モデル世帯における国保税額の比較



夫: 43歳 年収400万円

妻: 40歳 年収100万円

子: 男8歳 女7歳

(単位:円)

	現行	改正後	比較増減
基礎課税額(医療分)	300,000	318,800	18,800
後期高齢者支援金等課税額	89,300	100,500	11,200
介護給付費課税額	70,200	70,200	0
合計	459,500	489,500	30,000

※令和6年4月1日から実施

介護保険料が引き下げられました

熊野町介護保険条例の一部改正条例(議案第8号)

第9期介護保険事業期間(令和6~8年度)の介護保険料基準額が、現行の年額68,355円(月額5,696円)から年額57,936円(月額4,828円)に引き下げられました。

また、現行11段階に分割されている所得段階を13段階とし、新たな所得段階を追加することで、低所得者の保険料の負担軽減を図ります。

※令和6年4月1日から実施

ズバリ 町政を 問う!

一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点^{ただ}を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

皆さんの「暮らし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ページ	質問者	質問事項
9	藤本 健太 議員	1. 子ども議会の開催に対する対応は 2. 地震災害に関する対策をし、町民の皆様が少しでも安心して暮らせるまちづくりを
10	水原 耕一 議員	1. 障がい児福祉の支援の充実は 2. 耕作放棄地の増加。これからの農業のあり方は
11	民法 正則 議員	1. 地域おこし協力隊員の目的は 2. ドローンの活用を
12	中島 数宜 議員 尺田 耕平 議員	1. 熊野町文化財保存に向けた取組みは 1. 町職員の雇用と就労状況は
13	竹爪 憲吾 議員 光本 一也 議員	1. 地震災害の備えは 1. 認知症高齢者のご家族にGPS機器の購入費補助を
14	沖田 ゆかり 議員	1. 町民の健康増進を 2. 困難な問題を抱える女性への支援を
15	荒瀧 穂積 議員	1. 筆の里工房及び周辺整備計画は 2. 道づくりはまちづくり。県道延伸をどう活かすか

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。

また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。

なお、熊野町議会のホームページ(<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>)から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。



藤本 健太 議員

Q 子ども議会の開催に対する対応は

A 教育長

今後教育内容や計画を照らし、実施に向けて調査研究したい。

【Q1】

令和5年【子ども基本法】が策定されたが、町の方では何かこれに対するアプローチはしているか。

【A1】

今後子ども・若者の意見の聴取、施策への反映といったことに取り組むたいと考えているが、現時点では具体的な方法等は決まっていない。

【Q2】

子ども基本法の制定以降、このことに関して町民の方からの反応や近隣の自治体での動きは。

【A2】

今のところ町民からの意見や問い合わせなどはない。近隣の市町においても、国から大綱が示されたばかりということもあって、どこもまだ研究途中である。

【Q3】

子どもたちが自ら考え、発信していく場として子ども議会をぜひ開催しては。

【A3】

「ふるさと教育」に通じる学習として、自分の住んでいる自治体の行政について関心を深め、子ども達の視点で捉えた意見を発表する良い機会であると考えている。

【Q4】

本町でも過去に1度だけ「子ども議会」が開催されたが、その時の児童の提言に対する町としての取組は。

【A4】

学校施設の改修や改善、また児童生徒が使用する机や椅子の備品等の改修に向けての取組や、通学路の安全施策についても、児童の提言や各学校等から意見を集約し危険箇所の改善等に取り組んでいる。

Q 地震災害に関する対策をし、町民の皆様が少しでも安心して暮らせるまちづくりを

A 建設農林部長

来年度、耐震改修工事にかかわる補助制度を策定する予定である。

【Q1】

南海トラフ地震や本町が震源となる直下型地震が発生した場合の被災状況の想定は。

【A1】

広島県の地震被害想定公表では、南海トラフ地震は、震度5強から震度5弱の揺れが想定され、被害については、全壊が64棟、半壊が260棟で、死者0人、負傷者17人となっている。

また、本町が震源となる直下型地震において、震度6強から震度6弱の揺れが想定され、被害については、全壊が693棟、半壊が2696棟で、死者43人、負傷者624人となっている。

【Q2】

被害想定における発生確率は。

【A2】

南海トラフ地震は今後30年以内で発する

確率として、70～80パーセントを想定している。

【Q3】

旧耐震建築物の調査は。

【A3】

学校の校舎や体育館は、耐震診断を実施している。耐震性能が不足している建物は耐震改修工事を行い、耐震化が完了している。

住宅についての、耐震診断は建物の所有者が実施することになっている。

【Q4】

費用の大きい耐震改修工事の助成等は。

【A4】

今年度、策定している熊野町立地適正化計画に伴い、来年度より耐震改修工事に関わる補助制度を制定する予定。



水原 耕一 議員

Q 障がい児福祉の支援の充実は

A 町長

障害児福祉計画を策定し、継続的に支援を行う。

【Q1】

障害に関する情報が少ないと思われる方が多いと町の統計に出ている。町のホームページで検索してもなかなかほしい情報が出てこない状況である。改善方法はないか。

【A1】

障がいの悩みや相談事が多岐にわたっており必要な情報が受け取れていないのが現実だと理解している。情報発信の工夫をしていく。

【Q2】

障がいを持たれている子どもの保護者は、同じ経験をされた方（ペアレントメンター）からのアドバイスは大変参考になる。町内のペアレントメンターの人数は。また、楽しく子育てできるよう支援するペアレントトレーニングの実施状況は。

【A2】

ペアレントメンターは町内には居ないが熊野町を活動区域とされている方は30名いる。また、町内でのペアレントトレーニングの実施はないが、障がいのあるお子さんとその家族や地域の人との集いの場は開催している。

【Q3】

今回能登半島地震後、福祉避難所の開設ができない地域があった。一時的にも一般の避難所に避難しないといけない状況になった場合の対応は考えているか。

【A3】

一般の避難所に配置する職員は専門的な知識はないが、要配慮者のニーズにあった間取りや環境整備に努める。



Q 耕作放棄地の増加。これからの農業のあり方は

A 町長

農業委員会やJA等と連携を図り研究していく。

【Q1】

市町村が認定し支援していく制度の認定農業者は、今町内に何人いるか。

【A1】

現在1農家となっている。

【Q2】

1農家しかないのは町での農業ではメリットがないからではないか。メリットを増やす取組みは考えられないか。

【A2】

認定農業者の基準を下げることは制度の趣旨からも考えていないが、今後町独自の取組みを他の自治体を参考に研究していく。

【Q3】

耕作放棄地を減らしていくために、貸したい方と借りたい方とを取り持つような農地バ

ンク制度は作れないか。

【A3】

農地バンク制度ではないが、貸付可能な農地を農業委員や地元の方たちと一緒に情報共有しながら広く案内していく。

【Q4】

農業の衰退化が懸念されている。町の考えは。

【A4】

ベッドタウンであることを活かし、休日に行う無理のない農業をPRし、耕作放棄地の抑制や地域の活性化に繋げていく。

Q 地域おこし協力隊員の目的は

A 町長

客観的な視点でまちに新風を吹き込む人材を期待している。



民法 正則 議員

【Q1】

活動内容や経費、財源等は。

【A1】

会計年度任用職員として2名を募集。これから整備する体験交流施設の運営や利用を促進する準備業務のほか、インターネットを活用してまちの魅力を発信する活動などを想定している。予算は970万円で、地方交付税が全額措置される。

【Q2】

活動内容を情報発信とした理由は。

【A2】

若い世代の転入や地域への定着を促す重要な取組みとして、まちの魅力の情報発信に重点を置いた募集としている。

【Q3】

斬新な視点で熊野町の魅力を全国へ発信してもらえば、地元住民も刺激を受け、新たなイベントづくりなどに繋がるのではないか。

【A3】

地域おこし協力隊員の受け入れが進んでいけば、新たなイベントなどの可能性もあると考えている。

【Q4】

地域おこし協力隊員は任期終了後も地域に残り、古民家を再生してゲストハウスや農家レストランを行うなど起業する者も多いが、そういった視点での受け入れの考えは。

【A3】

町内で起業を志す場合の活動拠点や支援のあり方については、今後研究を進める。

Q ドローンの活用を

A 町長

先進的な取組みの情報収集に努め、今後、調査研究を進めていく。



▲ドローン

【Q1】

これまでに町の業務において、ドローンを活用した事例はあるのか。

【A1】

平成30年7月の豪雨災害後に国からドローンが貸与され、被災地の空撮などに活用したが、現在は操縦に国家資格が必要などの理由により、職員の操縦による活用は難しくなっている。

【Q2】

災害時に初動対応を迅速に行うためにも、ドローンを操縦できる職員の育成が必要ではないか。

【A2】

国家資格の取得に高額な費用が必要なため、職員の資格取得については費用対効果を

含め検討したいが、当面は業務委託によって対応していきたい。

【Q3】

有害鳥獣対策は近隣市町と連携して行う必要があるが、ドローンの活用はできないか。

【A3】

近隣市町とは、出没状況等の情報共有や合同での狩猟活動を行っている。ドローンの活用方法は、現時点で事例が少なく、費用に見合う効果を得ることが難しいと考えているが、近隣市町との連携は重要なことなので、今後ドローンの活用を含め、先進的な取組みの情報収集と調査研究をしていく。



中島 数宜 議員

Q 熊野町文化財保存に向けた取組みは

A 町長

「熊野町文化財保存活用地域計画」を策定し、保存に向けた取組みを進める。

【Q1】

熊野町文化財保存活用地域計画が策定中であるが、現在の進捗状況は。

【A1】

現在策定中の計画は、継続性・一貫性のある文化財の保存と活用を推進するために策定するもので今年1月にパブリックコメントを実施し、現在、申請に向けて文化庁と協議を進めている。

【Q2】

文化財保存認定に向けた今後の予定は。

【A2】

6月頃を目処に文化庁へ認定申請をする予定である。

【Q3】

令和4年6月の定例議会において、古文書等歴史的資料の保存に向けて質問したが、今

回の計画の中で取り組むか。

【A3】

地域の大切な宝を将来に残していくためにも本計画の中で取り組みたいと考えている。

【Q4】

本計画の実施時期は。

【A4】

一度に全ての事業を実施することは困難であり、前期、中期、後期に分けて10年間で着実に実施する。

【Q5】

古文書等の保存施設は「郷土館」を考えているか。

【A5】

文化財保存活用計画を踏まえながら調査研究をしていく。

Q 地震災害の備えは

A 町長

第6次熊野町総合計画に基づいて、事前の備えを進めていく。



竹爪 憲吾 議員

【Q1】

ライフラインの対策は。

【A1】

ガス、電気、水道は各事業所との実践的な連携訓練に努め、早期復旧に繋げる。復旧までの対策として、水、簡易トイレ等の備蓄を増やす。

【Q2】

住民側のできる対策、望ましい対策は。

【A2】

防災訓練への参加。訓練参加により疑似体験をしてもらい、命を守る行動、必要な備えを考えてほしい。ライフラインが止まった場合に備えて、非常持出袋の作成や非常用備蓄品を各家庭で備えていただきたい。

【Q3】

命を守る対策としては、建物の倒壊を防ぐことも大切だが、その対策は。

【A3】

木造住宅の耐震改修に関わる工事費の一部を助成する制度を準備している。

【Q4】

電気に関して国の施策に、国が3分の2、自治体の出資者が3分の1負担。地域の個人住宅等と20年契約で、ソーラーパネルと蓄電池を無償で設置し、地域内で電力を生み使っていく仕組みがあり、各家庭で蓄電できるので、災害時のメリットがあると思う。検討できないか。

【A4】

今後情報収集し、研究したい。



尺田 耕平 議員

Q 町職員の雇用と就労状況は

A 町長

住民が求めるサービス水準を確保するため、職場環境を整備し、職員が定着するよう取り組む。

【Q1】

本町の雇用と就労状況については、過去5年の早期退職者は、平均年齢は34.4歳、平均勤務年数は11.5年となっており、特に、令和3年度から若年層での早期退職者が増加しており、今年度においては早期退職者全員が勤務10年以下での退職となっている。

労働環境については、人口1万人当たりの職員負担は県内23市町で2番目に高く、給与は県内最下位の状況である。

参考に人口1万人当たりの職員負担は県内23市町で1番目に高いのは府中町で、給与は6位。県内9町の中では1位。

早期退職者の主な再就職先は県内の自治体と聞いている。

若年層の早期退職者の全てがそうとは言わ

ないが、多額の税金を投入して職員を育成し、スキルアップ後に他市町で再就職されては財政的に迷惑でしかない。

また、早期退職が出るたび会計年度任用職員で穴埋めをしているが、あくまで正職員の補助であることから正職員の負担軽減と言いつても難しいところもあり、住民に対して質の高いサービスやパフォーマンスを提供し難しくなっており、負のスパイラルが生じている。

優秀な人材の確保と流出を防ぐためにも定着率を上げる必要があるのではないかと。

【A1】

初任給の改善を含め基本給の増額、昇給など労働条件の改善は重要な課題である。

また、採用試験での年齢制限の引上げ等も必要と考えている。

Q 認知症高齢者のご家族にGPS機器の購入費補助を

A 高齢者支援課長

ご家族の精神的・身体的負担の軽減に向け予算措置した。



光本 一也 議員

【Q1】

認知症の方が過去5年間に行方不明となった件数は。

【A1】

令和元年度8件、2年度6件、3年度5件、4年度17件、5年度（2月末現在）30件。

【Q2】

認知症と診断されたが介護保険の対象とならなかった方、又は介護保険サービスを利用していない方への支援は。

【A2】

総合事業の訪問介護や通所サービス、認知症カフェ、シルバーリハビリ体操などを紹介している。

【Q3】

家族への支援は。

【A3】

介護保険申請と合わせ、かかりつけ医や専門医等への受診を勧めている。

【Q4】

認知症予防の取り組みは。

【A4】

介護予防講座や出前講座で早期の医療機関での検査、食事や運動、地域活動への参加を勧めている。

【Q5】

徘徊認知症高齢者等SOSネットワークの登録者数が少ないが、周知方法は。

【A5】

認知症サポーター養成講座や出前講座等で周知している。



沖田 ゆかり 議員

Q 町民の健康増進を

A 町長

町民ひとりひとりに合った健康づくりを推進していく。

【Q1】

带状疱疹は、子どもの頃に感染する「水ぼうそう」のウイルスが、治癒後も体の感覚神経に潜伏し、大人になって加齢や疲労によるストレスなどにより発症する病気で、80歳までに3人に1人が発症する疾患と言われている。眠れないほどの激しい痛みを伴い、高齢者では発症した場合、重篤化するリスクが高くなる。ワクチン接種費用が4万～5万円かかるため、年金生活の高齢者には負担が大きく全国的にも200を超える自治体で公費助成が拡大している。熊野町においても取り組んでいただきたいが。

【A1】

带状疱疹予防ワクチンは効果が認められているが、定期接種ではないため助成は実施していない。今後、国の動向を注視していく。

【Q2】

将来の妊娠を考えながら、女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うための健康管理を提供するプレコンセプションケアについて、熊野町での取り組みは。

【A2】

非常に重要な取り組みと理解している。今後調査研究していく。

【Q3】

プレコンチェックシートを町のホームページや公式LINEで周知していただき、自身で健康管理ができるように啓発していただきたいが。

【A3】

町のホームページに掲載し自身で健康管理ができるように検討していく。

Q 筆の里工房及び周辺整備計画は

A 町長

筆文化と長年の文化芸術活動を強みに町民主体の新しい交流体験施設をつくる。

【Q1】

町は人口減・交流人口増・景気対策などのため、観光交流拠点整備構想を超短期間で作り、体験型交流施設の設置を決めた。

熊野モール周辺は年間約200万人の交流人口を集め、次は世界的ハンバーガー店の出店が準備されている。益々活気が出て人口増が見込まれる。道路など優先整備が行政の役目では。

町民は桜の花見や大人も子どもも楽しめる観光いちご農園を求めている。

【A1】

筆文化と長年の文化芸術活動を強みに筆の里工房は博物館として、体験交流施設は町民の主体的活動の場として文化的・経済的な価値を創造する魅力的な交流施設として整備する。



▲筆の里工房周辺整備事業

Q 困難な問題を抱える女性への支援を

A 町長

必要な支援体制を構築していく。

【Q1】

令和6年4月から施行される「困難女性支援法」について、熊野町での取り組みは。

【A1】

女性専用窓口はないが、こども夢プラザに母子父子自立支援員、家庭児童相談員を配置して相談に対応している。

【Q2】

広島県ではDVの相談件数が多いようだが熊野町ではどうか？

【A2】

子どもの発達や虐待などの児童の養育について20件、児童扶養手当や生活援護などの経済的支援について9件、DVが12件となっている。

【Q3】

DVで自立支援施設にいた方は心身ともに疲弊している。住民票の異動などの事務手続きについては職員が同行して行っているのか。

【A3】

住民票の手続きや医療受診などにも専門員が同行し、被害者に寄り添った支援を行っている。



Q 道づくりはまちづくり。県道延伸をどう活かすか

A 町長

地域資源や特性を活かし都市と自然の共存したコンパクトで持続可能な町に。

【Q1】

「町の将来像」が立地適正化及び公共交通計画で示されたが、残念ながら県道延伸が入っていない。

県は事業を進めて4月からは用地立ち合いに入る。

町長も県と連携し将来像実現に地元に入っては。

【A1】

多様な資源や地域特性を最大限活かし都市と自然の共存した暮らし、コンパクトで持続可能な町を実現する。

また、魅力ある公共交通に拠点整備や幹線軸と生活交通網を整え、生活・通勤・通学など利便性向上を目指す。



▲県道矢野安浦線バイパスの供用開始区間

がんばる保育現場!!

③くまの中央保育園

保育目標「一人ひとりの個性を尊重し、自主的に行動できる、
思いやりのある子を育てる」



榊山神社までお散歩



天気が良ければどんどんと
どこまでもお散歩、だいあき。

季節を感じるお散歩コース



保育園の周辺は、
自然がいっぱいです。

楽しい給食



これ好きな人「は〜い」
「先生、はやく〜お腹ぺこぺこ」

一般開放のお知らせ（前日までに要予約）

毎週火曜日午前中に園庭開放を実施しています。
子育て中のお母さんに限らず、町民の皆様にも
ぜひ遊びにお越しいただければ幸いです。

取材：世良・藤本

周辺の自然をうまく活用して、くまの中央保育園ならではの「心身をたくましく」の教育方針に子どもの頃を思い出し、懐かしさを感じました。

題字の揮毫者



熊野中学校3年生
こうぼうどう しおん
弘法堂 詩音さん

あとがき

新緑の木々が目に鮮やかな季節になりました。新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられて初めてのゴールデンウィーク、東北新幹線の延長も伴い旅行やお出掛けもコロナ以前の賑わいが帰って来ていると感じます。

今回の議会だよりは令和6年度 当初予算等を中心に、皆さんが読みやすい紙面づくりを目指して作成しました。広島も40年ぶりのカープ日本一や新スタジアムでのサンフレッチェ優勝で、盛り上がりげと願っています。熊野町も近年住宅や商業店舗も増え活気が出てきています。町民の皆様が少しでも住みやすいと感じる町づくりに力を注ぎこれからも頑張っ参ります。

世良 将生

次の定例会は **6月4日(火曜日)**
開会を予定しています



「くまの議会だより」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。